

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	農村環境保全向上活動支援事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課	
		予算科目	6 款 1 項 12 目	事業番号	2792	所属長名	武智博
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	山口高宏	
法令根拠等	伊予市農村環境保全向上活動支援事業補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 魅力ある農業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業の振興						
事業の対象	集落内の農地 (農振農用地)、農道、開水路及びため池等の質を高める保全活動			事業の目的	農家だけでなく地域の一般住民を含めた活動組織を立上げ、農道・ため池の草刈りや水路の泥上げ、施設の補修、景観作物の植栽など、農業・農村資源の機能を向上させる取組みを共同活動にて実施する。		
事業の内容 (整備内容)	近年、農村の過疎化、高齢化や混住化の進行に伴い農村集落機能が低下し、農業用施設の適切な保安全管理が困難となりつつある。このことから、農地や農業用水路、ため池などの資源の保全とその質の向上を図る新たな対策を導入した。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1 年度予定	9月末の実績	1 年度実績
直接事業費	60,502	65,173	△ 2,822	0	0	60,909	多面的機能支払交付金	千円	60502	62351	84	60909
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	43,078	47,725	△ 2,250	0	0	44,372						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	1,125	0	178	0	0	177						
一般財源	16,299	17,448	△ 750	0	0	16,360						
職員の人工 (にんく) 数	0.35	0.69				0.69						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	63,296	70,687				66,423						
主な実施主体	活動組織		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		交付金 (56,931千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					61,000	61,000	61,000	61,000	61,000	305,000		
成果指標	指標	実施事業量 (決算額) ÷ 要望事業量 (予算額)			単位	区分年度	前 年度	1 年度	2 年度	目標 毎 年度		
					%	目 標	100	100	100	100		
	指標設定の考え方	要望事業量に対する実施事業量の割合を上げることが、農業・農村資源の機能向上を図れることになる。			⇒	実 績	94.8	97.7				
指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		各集落協定代表者と事業内容等の協議を実施した。								
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	関係機関(愛媛県多面的機能支払推進協議会)と共に活動組織に対する説明会を実施し、活動組織の広域化に向けた施策の普及啓発を図った。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 本事業は、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく法定事務事業であり、継続と判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <small>行政評価委員会委員選定事業 事業活動の実績の中で最上段に多面的機能支払交付金の欄があるが、もっと分かりやすい工夫として下段に活動組織体との協定共同団体数や面積を記載するともっと分かりやすくなるのではないか。成果指標の決算額は県補助金の内示率で変動する。また、県費充当率100%はないことから、市費で不足分を補ぎ足す以外に目標数値100%にはならない。成果指標は決算額÷予算額でなく、協定集落が行う保全活動予定面積と実績で表すか、もしくは市の目標とする集落協定数に対しての実績数にすべきではないか、令和2年度には検討をされたい。</small>	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を交付してあげているという考えから、活動をしていただいているという考えに発想を変えるべき。</li> <li>・少しでも長く、団体・組織を維持し、里山の環境保全が続いていくようにしてもらいたい。</li> <li>・農地の維持保全は非常に大切。ただ、各地区には高齢化の波が押し寄せている。いつまで続くのかという懸念がある。</li> <li>・個々の団体がそこまで活発な活動をしているわけでないため、広域化を推奨しても応えてくれない。地元にはそのニーズがないので、逆に個々の活動を活発にするための支援にエネルギーと予算を注ぐべきである。</li> <li>・農村の環境保全が、補助金でもって維持できていることを知るよい機会となった。</li> <li>・担い手不足という課題は、まだまだ改善の余地が残されている。活動を担っている組織や関係者の実情を、手を変え品を変えて今後も伝え続けることが重要である。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	将来にわたって農業・農村の基盤を支える事業である。今後も引き続き環境の向上を図るために、農業者だけでなく、地域住民・自治会・関係団体等が幅広く参加する新たな活動組織の形成について検討すること。
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	